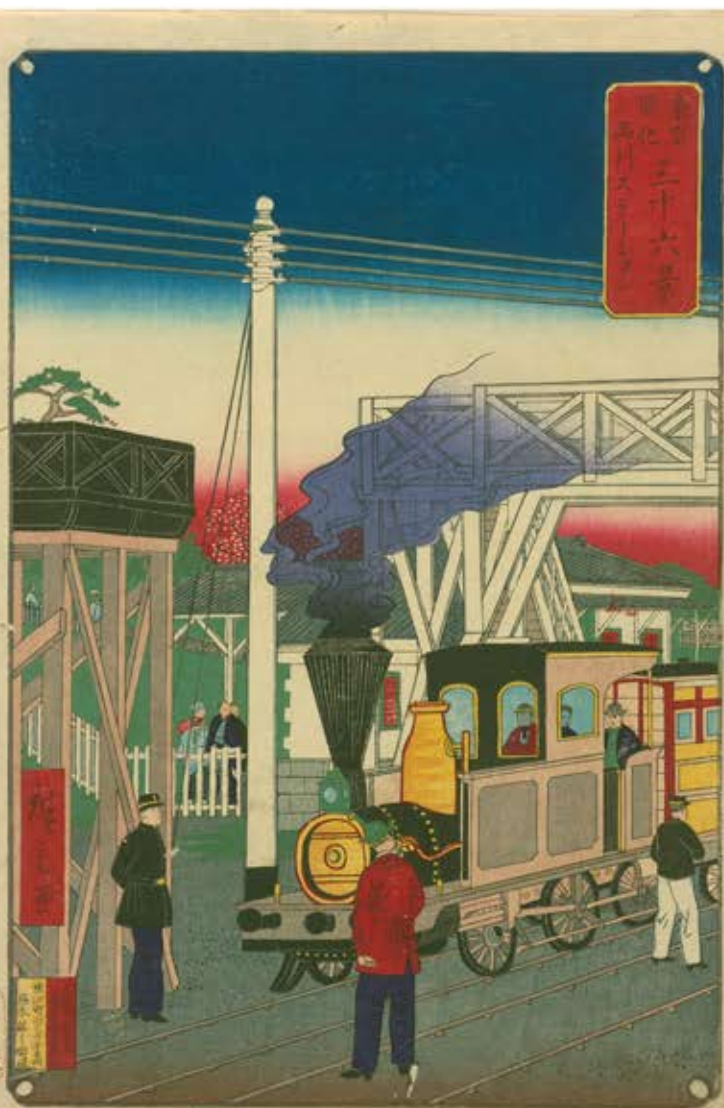


6. 民間人

関わった企業は約500社

明治6年(1873)官を辞した栄一は、創設された第一国立銀行の総監役に就任します。同8年には頭取となり、同29年に第一銀行と改組されて以降も大正5年(1916)に辞職するまで長くその頭取の任にあり、日本の実業界を牽引していきました。

また、明治8年には有力華族の出資により結成された鉄道会社(後に東京鉄道組合と改称)の総代理人も兼務し、新橋横浜間の官営鉄道の民間払下げ運動に関わるなど、近代国家のインフラ整備にも尽力しています。



「東京開化三十六景」(NDLデジタルコレクション)より(左)品川ステーション (右)第一国立銀行